



学校便り

高甫っ子

令和2年7月13日

NO 7

須坂市立高甫小学校

文責 黒岩

【学校教育目標】 明日の日本をになう子ども たくましく かしく ほがらかな 高甫っ子

一学期も残すところ一月となりました

今年の梅雨は例年に比べて雨の降る日が多く、じめじめした日が続きますね。日本各地で河川の増水や氾濫、土砂災害の報告を耳にするにつけ、昨年度の台風19号を思い出します。今のところ百々川や鮎川の水位もさほど高くはなっていませんが、須坂市内でも河川が増水したという報告を受けています。まだしばらくは雨の日が続きます。十分注意したいと思います。

毎日の雨のせいか、敷地内の草も元気に育っています。藤谷先生も毎日草をたくさん刈りますが、すぐ伸びてきます。草の生命力は強いですね。また、花壇の花も代わる代わる咲き、季節の花を楽しむことができます。雨が止むと子どもたちは校庭に一目散。元気に走り回っています。コロナ感染予防の一つとして、抵抗力を高めることが求められています。わずかな晴れ間を体づくりに活かしています。

さて、夏休みまで一月を切りました。当初の計画では、7月22日から夏休みの予定でした。夏休みには東京オリンピックで日本中が盛り上がる、そんな暑い夏を思い描いていましたが、今は世界的に自粛ムード。少しずつ新しい生活様式も浸透しつつ、静かな生活になっています。

今日までのところ、2ヵ月に及ぶ臨時休業により、多くの学校行事を中止や延期、縮小して実施して参りました。子どもたちも楽しみにしていた行事が中止となり、残念な気持ちを持ちつつも、限られた中で色々なことに挑戦しながら頑張っている姿に、子どもたちの成長を感じます。

さて、6月30日に学級懇談会を実施させていただきました。30分間といつもより短い時間でしたが、ご都合をつけて多くの方に参加していただき感謝申し上げます。懇談会では、学級経営方針や今後の学校行事について説明をさせていただくと共に、臨時休業中の家での過ごし方や家庭学習の内容について感想やご意見をいただきました。家庭学習については、量が多いというご意見と反対に少ないというご意見をいただきました。今後、第2波によりさらに臨時休業になることが予想されます。今までの取り組みをしっかり検証して、次に活かして参りたいと思います。また、1学期は、予定されていた行事をいくつか中止にしたため、授業時数をある程度確保することができました。そのため臨時休業により遅れていた学習内容については、1学期終了時には例年並みの進度になりそうです。



1年生の七夕飾り

7月8日に町別子ども会を実施しました。夏休みの行事や夏休みの生活で気をつけることを確認しました。PTA 指導部員と支部長さんにも参加していただきました。今年の夏休みは大変短く、例年とは過ごし方も変わります。短い夏休みをどう過ごせばいいか、お家でも話題にしていだければと思います。子ども会終了後は、集団下校となりました。担当職員と共に班ごとまとまって帰りました。途中、交通に注意する場所や通学路沿いの「安心の家」を確認しました。



八町キュウリはコロナに負けません!
本校、田中先生がデザインしました。

梅雨明けが待ち遠しいですね。梅雨が明けると日中の日差しも強くなります。夏本番を前に子どもたちの興味はクワガタムシやカブトムシです。近くの林や街灯の下に行ってみると、見つかるかもしれませんね。

八町キュウリ 最盛期を迎えました！

5月の臨時休業中に4年生が植えた八町キュウリが、今最盛期を迎えました。毎朝、4年生は水くれ当番を欠かさず行き、すくすくと育ちました。八町キュウリの栽培は大変難しく、やっと食べ頃サイズのものが収穫できるまでになりました。収穫された八町キュウリは7月28日の給食にサラダとして出る予定です。

7月10日には、3年生が八町キュウリを植えました。



いよいよ3年生の番です

八町キュウリ保存会会長の松澤さんに植え方を教えていただきました。梅雨が明けると水くれが大変です。夏休みにも当番を決めて水をくれなければなりません。3年生の皆さんがんばってください！



昇降口から校庭に下りる階段の劣化が進み危険な状態でしたが、教育委員会にお願いして修理していただきました。

これで子どもたちも安心して通行できます。



=PTA活動=

★教養部のブックリサイクル活動

お家で読まなくなった本を回収しています。昇降口正面の回収ボックスに入れてください。

★総務部のミニ資源回収

7月22日～8月4日まで、体育館前駐車場のコンテナに資源物を入れてください。回収物は、新聞紙、雑誌、段ボールです。

校内に花がいっぱい！

校内にたくさん花が飾られています。子どもたちが届けてくれた花を教頭先生が生けてくださいます。日本の美しい四季には、それぞれの季節に合った美しい花が咲きます。花を眺めながら季節を感じています。これからは、あじさいがきれいですね。



児童虐待は脳に影響を与えます

新型コロナ感染症拡大防止のための長期にわたる臨時休業は、子どもたちだけでなく保護者のストレスも蓄積し、そのイライラが子どもたちに向くケースが新聞等で多数取り上げられています。

虐待、あるいは虐待を疑う場合、すべての国民に通告する義務が定められていますが、教職員や学校にも児童相談所等への「通告」の義務が課せられています。

児童虐待は、態様によって4種類に分かれます。殴ったり、蹴ったり、激しく揺さぶることは**身体的虐待**と呼ばれます。子どもへの性的行為や子どもに性的行為を見せることは**性的虐待**にあたり、家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にすることなどは**ネグレクト**(育児放棄)です。言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱いは**心理的虐待**です。

中でも急増しているのが**面前DV**(ドメスティックバイオレンス)です。どちらかの親が子どもの前で、配偶者に暴力をふるったり、暴言を吐いたりする行為で、面前DVはこの心理的虐待に含まれます。

子どもの時に厳しい虐待を受けると脳が委縮し、脳の一部がうまく発達できなくなってしまいます。そういった脳の傷を負ってしまった子どもたちは、大人になってからも精神的なトラブルを背負うことになるとも言われています。

学校が再開したとはいえ、社会生活の完全復帰とまではいっていません。家庭生活におけるストレスが癒えなくてお困りの方は、スクールカウンセラーや各種相談窓口を活用するなど、誰かに相談することで落ち着きを取り戻すことができます。心配なことがあれば遠慮なく学校にご相談いただきたいと思います。